

# 優秀賞

設計会社 (株) カナザワ建築設計事務所

施工会社 ベアアンドジェイ (有)

構造 在来木造

講評

震災の避難区域の解除によって、築140年の雰囲気再生し、我が家への暮る思いを見事に受け継いでいる。揚屋や寒さ対策により性能も向上し、増築部分の撤去や、小屋裏の吹き抜けや居室への変更、更に古民家の良さを引き出す仕上げによって、家の魅力を取り戻した。

リフォーム前後の写真

【リフォーム前】



【揚屋工事の様子】



【リフォーム後】



リフォームの動機／設計・施工の工夫点／施主の感想・満足度／住宅の価値を向上させた内容など

東日本大震災において、避難区域となって4年が経ち、我が家への思いが募っていた。住むことが可能になる時期が決まった時点で、築140年の家の再生計画が始まった。設計としては、子育てが終わった夫婦とお母様の家なので、かつて増築した部分を減築し現代の生活が快適な空間になるよう工夫した。既存の柱や梁、差し鴨居等をできる限り残し建物強度を落とさずに現代生活に合った間取りへと変更した。また、耐震性を向上させるため、耐力壁で壁を補強した。また、頑強なべた基礎によって、耐震性と同時に防湿性も向上させた。

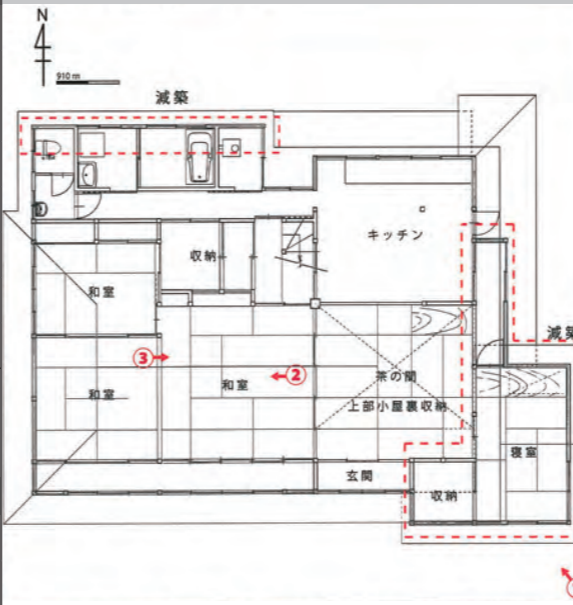
住み継いできた家の記憶を大切にしながら、生活の問題点を解消させた。まず、冬の寒さの対策として、壁、屋根、床へ十分な断熱性と機密性をもたせ、さらに性能の高いサッシを採用した。北側を明るくするため、天窗や吹き抜けを設けることによって大きく改善された。床の段差を解消や家事動線の短縮等によって、今度年齢を重ねても、暮らしやすい住まいとなるよう工夫した。お施主様は、家の雰囲気を残して間取りや住み心地を改善でき、とても喜んでいる。歴史ある住まいを住み継いでいけるような建物に改修することができた。

性能向上の特性  
耐震性能、耐久性能、温熱性能、バリアフリー性能

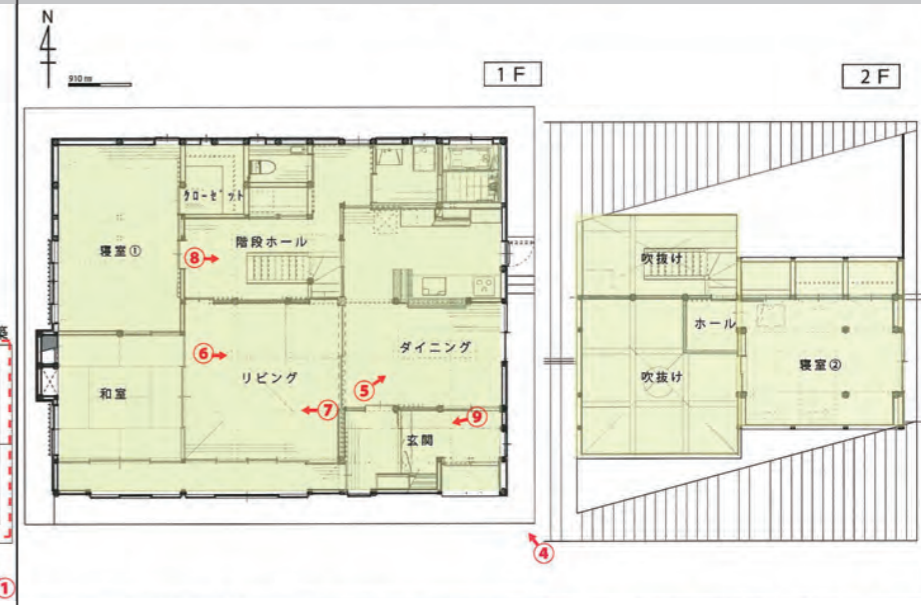
特に配慮した事項  
長年の家のゆがみや、地震による損傷に対して、揚屋を行い基礎をつくり建物を下ろして調整することによって改善できた。

データ	
所在地	福島県双葉郡楢葉町
新築竣工年	1877年
築後年数	140年
施工期間	300日間
該当工事床面積	152㎡
総工事床面積	152㎡
該当部分工事費	3500万円
総工事費	3500万円
居住者構成	65歳以上：1人 / 15～64歳：2人 / 15歳未満：0人

リフォーム前の平面図



リフォーム後の平面図



リフォーム部位：■居室/ ■台所/ ■浴室/ ■便所/ ■洗面所/ ■廊下/ ■階段/ ■玄関/ □インテリア/ □マツヨリ共用部分/ □その他